



プログラマに浸透中、GitHubでも標準フォーマット

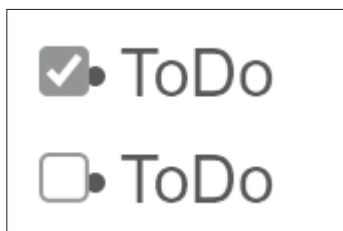
Markdownドキュメントの書き方講座

第2回 表やリンクの埋め込み方や文字の強調

村井 和夫

```
* [x] ToDo
* [ ] ToDo
```

(a) Markdown



(b) 結果

図1 チェック・ボックスを表示する例

```
| 表題 | データ1 | データ2 | データ3 |
| :-: | :-: | :-: | :-: |
| 項目1 | 11 | 12 | 13 |
| 項目2 | 21 | 22 | 23 |
```

(a) Markdown

表題	データ1	データ2	データ3
項目1	11	12	13
項目2	21	22	23

(b) 結果

図2 シンプルな表の記述例

本文に、文書の構造に関する情報も埋め込めるMarkdownが、プログラムの付属文書などで使われる場面が増えています。複雑な装飾はできませんが、HTMLなどに比べて書きやすいためプログラマに人気があります。

今回は、表の埋め込み方や、任意の文字の強調、リンクの埋め込み方について紹介します。(編集部)

本記事を試すには、拡張子.mdのファイルをメモ帳で作成し、Visual Studio Codeで開きます。Markdownエディタには、オフライン版、オンライン版、実にさまざまなものがあります(本記事の内容はVisual Studio Codeで確認している)。

● チェック・ボックス

基本機能ではありませんが、リストの中にテキスト形式でチェック・ボックスを置くと、ビューによってはHTMLのチェック・ボックスのように表示します(図1)。普通のリストと視覚効果を変えられます。

● 表

表(テーブル)は、テキストでよく使われる形式で記述できます。特に成形しなくてもMarkdown Viewer

であれば、きれいに成形して表示してくれます。

見た目通りに各欄を“|”で区切ってテーブルを表現します(図2)。2行目が書式になり、要素に“-”を入れることで表に整形されて表示されます。“-”の数は任意です。行の先頭の|と最後の|は省略可能です。

2行目の“-”の左右に“:”を置くことで、左揃え/右揃え/中央揃えなどを指定できます。ここでも“-”の数は任意です。

```
: - 左揃え
- : 右揃え
: - : 中央揃え
```

表の中以外では“:”と“-”の組み合わせは絵文字として表示される場合があります。

▶ 表のセルの結合機能

セルの結合機能を使うには、Markdown Preview Enhancedの設定を変更する必要があります。VSCodeの設定画面から「Markdown-preview-enhanced: Enable Extend Table Syntax」を検索し、チェックを付けてください。簡単な結合をできるようになります。

● 表のセルを横結合する

記述例を図3に示します。